

令和2年度 学校経営方針（後期）

佐世保市立吉井南小学校

校長 山口伸一郎

1 はじめに

前期は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、全国的な臨時休業や各種行事の延期、感染防止対応等、例年と違う予期せぬ対応が数多くあり、計画通りに物事が進まず、試行錯誤や悪戦苦闘の多い半年間だったと思います。

しかしながら、先生方の日々の熱心で献身的な教育活動の実践により、子どもたちも少しずつ落ち着きを取り戻しながら学校生活を送り、各学年ともに子どもたちの成長をうかがうことができました。なかでも、重点目標の具現化に向けた方策の一つとして、子どもたちに特に意識させて取り組んでいる、「元気で爽やかなあいさつの推進（「ありがとう」の励行）や「はきものを揃える」については、『凡事徹底』（当たり前のことを徹底してやり通す!）のスローガンのもと、皆で共通認識をもって指導を行うことで、徐々に子どもたちに浸透しつつあります。

さて、慌ただしいなかではありましたが、早いもので半年が過ぎ、いよいよ一年間の折り返しを迎え、後期がスタートしました。まだまだ新型コロナウイルス感染防止の対応は続きますが、これまでの積み上げを生かし、日頃の学習活動や運動会等の大きな行事等を通して、子どもたちに笑顔を増やし、自信をつけさせていきたいものです。

年度末に向けて、大きな実りを得ることができるよう、子どもたち一人ひとりはもちろん、私たち教師にとっても、そして、学校にとっても、充実した後期となるよう、全教職員が一丸となって教育活動を展開していきましょう。

2 教育目標

「夢・あこがれをもち 笑顔あふれる吉井っ子」の育成

3 めざす児童像

- ◎ 思いやりのある子
- ◎ 進んで学習する子
- ◎ たくましい子

4 重点目標と具現化の方策

- **人間関係力** 他者を理解し、思いやりのある子どもの育成
- **考える力** 目標をもち、進んで粘り強く学習に取り組む子どもの育成
- **基礎体力（耐力）** 心と身体を鍛え、困難を乗り越えようとする力をもった子どもの育成

スローガン 「 凡事徹底 」

（ 当たり前のことを徹底してやり通す！ ）

※ 後期の重点努力事項

自信を育み、自己肯定感を高める 努力を「継続」し、成功体験を積ませる

- ① 「前期の実践を根気強く継続し、定着を図る」
- ② 「褒めて、自信をもたせ、伸ばす」 **教師の仕掛け**
（子どもの実態に応じた成功体験を積ませ、達成感を味わわせる）
→ **自信、自己肯定感の高まり**
- ③ 「失敗を恐れずに、取り組ませる（チャレンジ）」 → **主体性を育てる**

<具現化の方策>

- (1) 明るく元気な人づくりを推進する
心のふれあいを大切にし、個の理解に努め、児童の人格（心）を育てる。
 - ① **元気で爽やかなあいさつを推進する。（「ありがとう」の励行）**
 - ② 基本的生活習慣の定着を図る。**（心を整え、生活・学習への構えをつくる）**
（はきものを揃える、しっかりと話を聴く、忘れ物をなくす）
 - ③ 礼儀、節度、感謝を重んじ、けじめのある生活態度を育てる。

- (2) みんなで支え合う学年・学級づくりを推進する
学校教育目標の具現化を図る学年・学級経営計画とその実践に努める
 - ① 子どもと教師、子ども相互の温かい人間関係と信頼関係をつくる。
 - ② ふれあい、励まし合い、いじめのない集団づくりに努める。
 - ③ 子ども主体の教育活動を推進し、めざす子どもの姿を保護者・子どもにわかりやすく説明する。

- (3) みんなで学び合う授業づくりを推進する
子どもの可能性を信じ、**学び方を身につけさせる**ことで子どもの「学びに向かう力」を育てる。
 - ① **基礎・基本の徹底**と思考力・判断力・表現力の育成に努める。
 - ② **保護者との連携**を図り、**家庭学習の充実・基本的生活習慣の定着**に努める。
 - ③ 校内研修の充実を図ることで、**わかる授業を推進し、学力向上に努める。（互見授業の活性化）**
（前期の反省を生かし、計画的に、子どもたちの実態をとらえた研修を推進する。）

- (4) 道徳教育・人権教育の充実・強化を図る
人間の生き方についての学習を深め、子どもの心を育てる。
 - ① 自尊感情を養い、自他の生命を尊重し、一人一人の人権を守る教育を推進する。
 - ② 日常生活において**道徳的実践力**を育てる。
 - ③ 考える道徳、議論する道徳の授業の工夫改善に努める。
（「道徳の教科化」における評価の充実を図る）

- (5) 個に応じた支援及び特別支援教育の充実を図る
心のふれあいを重視した教育活動を展開する。
 - ① **家庭や関係機関との連携を深め**、個々の実態把握とよりよい支援に努める。
 - ② 一人一人に寄り添った指導、**児童理解の共有とチームでの支援の充実・強化**を図る。
 - ③ 師弟同行の教育で、清掃活動など進んで奉仕する態度を育成する。

- (6) 読書活動を推進する
ことばの力を育み、心を耕す読書活動を推進する。 → **「読解力」の向上**
 - ① 読書環境の整備充実^①に努める。**（図書館の学習情報センターとしての活用も推進する）**
 - ② 豊かな心を育む意図的・計画的な読書活動の展開に努める。**（発達段階に則した本との出会い）**
 - ③ 図書館の利活用など読書への啓発と賞賛を家庭と連携を図りながら推進する。

- (7) 保健安全教育の充実・強化を図る
心身の健康についての関心を高め、児童の自己管理能力を育てる。
 - ① 日常の安全点検、健康・安全指導を充実し、**感染症・生活事故の防止**に一層努める。
（新型コロナウイルス・インフルエンザ等、感染症予防への対応及び意識向上）
 - ② 体育や休み時間、諸活動を通して自らを鍛え、体位・体力の向上と健康増進を図る。
 - ③ 栄養教諭と連携した給食指導や日々の授業を通して、**食への関心を高め**、望ましい食習慣を形成するとともに、食育の充実を図る。**（食アレルギー対応確認）**

(8) 特色ある学校づくりを推進する

学校の伝統と地域の特性を生かした学校づくりを推進する。

(「ふるさと教育」の推進：吉井南小といえは〇〇)

- ① **地域の「ひと・こと・もの」と連携した活動の充実を図る。**
(外部講師や関係機関との連携を図り、学習の充実に努める)
- ② 伝統の継承と新たな文化の創造に努める。**(地域を誇りに思う子どもを育てる)**
- ③ 地域に飛び出し、地域を呼び込み、開かれた学校づくりに努める。
(保育園、幼稚園、近隣小・中学校との連携)

(9) 生き方を学ぶキャリア教育の推進

夢をもちその実現に向けて挑戦する向上心、努力する忍耐力を育てる。

- ① 人との出会いを取り入れた学習活動を行い、**夢やあこがれをもたせる。(様々な体験)**
- ② 目の前の困難にしっかりと向き合い、**志の実現に向けて挑戦しようとする態度を育てる。**
- ③ **目標の実現に努め、継続することの大切さ、達成感を味わう体験を仕組む。**

「継続は力なり」。何事も「一」がはじまりであり、基本です。物事は、どのように大きなことも、常に小さな「一」の積み重ねのもとに成り立っています。ですから、「一」を大切にしなければ物事は成り立たず、**成果も上がりません。**後期も、「凡事徹底」を貫き、基礎・基本を大切にしながら「当たり前のことを徹底してやり通す」ことができることをめざし、全職員力で**子どもも教師も輝く吉井南小学校**の実現に向けてがんばりましょう。